基本編

Actiontec®
Creative Solutions for the Digital Life

ScreenBeam™ Pro -Business-

スクリーンビームプロ ビジネス

スクリーンビーム
セントラルマネージメントシステム（CMS）対応

取扱説明書(基本編)

バージョン1.0

もくじ

1. はじめに 1
1.1. 製品パッケージの内容 1
1.2. 機能について 2
1.3. システム要件 2
1.3.1. 受信機側 2
1.3.2. 送信機器側 2
1.3.3. インテル®ProWiDiを快適にご利用いただくために 3
2. セットアップ方法 3
2.1. HDTVモニターとの接続 3
3. スクリーンビームプロ・ビジネスの初期設定 4
3.1. Windows8.1プリインストール機器での設定 4
3.2. インテル® WiDi アプリケーション搭載機器での設定 7
3.2.1. 表示画面サイズの調整 8
3.2.2. 対応するインテル®WiDiアプリケーション情報 9
3.3. インテル®Pro WiDi アプリケーションを利用する 10
3.4. 最適なパフォーマンスを得るために 12
4. 表示と操作について 13
4.1. インテル® Pro WiDiとミーティングマネージメント機能について 13
4.2. 各表示モード 14
4.3. 高速表示モード 15
4.3.1. インテル® WiDi (第4世代) 15
4.4. USB バックチャンネル(USB over IP)について 16
5. 受信機のファームウエア更新 17

高度なネットワーク設定および管理画面利用方法については、
取扱説明書（上級編）をご覧ください。

1. はじめに

この度は、弊社ワイヤレスディスプレイレシーバー、スクリーンビームプロ・ビジネスをお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。本製品はインテル® WiDiまたはMiracast™に対応した機器の画面に表示された動画、ストリーム映像、写真、音楽などを、ワイヤレス転送でHDTVモニターへ投影します。

本製品の特長は、簡単なセットアップ、高度なセキュリティによるIT管理、ミーティング設定 (第5世代インテル® WiDi以降)、スムーズなビデオ再生、フルHD1080pのサポート、高速応答性、高い互換性、低消費電力など多彩です。

スクリーンビームプロ・ビジネスを利用すると、会議室内に乱雑に置かれたHDMIケーブルやVGAケーブルを探す手間をなくし、即座に表計算などのアプリ画面を表示してプレゼンテーションを始めることができます。さらに、ミーティングマネージメント機能を利用することで、会議参加者が、交互に自身の端末画面をプロジェクターやHDTVモニターに、ケーブルなしで投影することもできます。

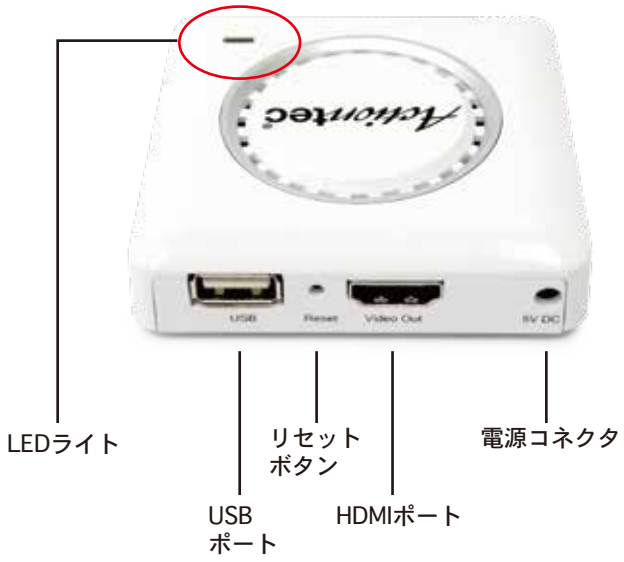
本取扱説明書では、受信機の設置、接続、操作、設定、およびグレードアップを行うために必要な手順について説明します。

1.1.製品パッケージの内容

スクリーンビームプロ・ビジネスには、下記のアイテムが含まれています。

・スクリーンビームプロ・ビジネス本体（1）
・HDMIケーブル（1）
・HDMI-to-VGA 変換アダプター（1）
・AC電源アダプター（1）
・保証書（1）

1.2. 機能について



1. リセットボタン(Reset)： 本体システムを初期化します。
2. HDMIポート(Video Out)：HDTVやプロジェクターと接続するためのHDMIケーブル接続端子です。
3. 電源コネクタ(5V DC)： 付属のACアダプターの接続端子です。
4. LEDライト：本体の電源入力時に青色、点灯します。
5. USBポート(USB)：ファームウェアのアップグレードに使用します。

1.3. システム要件

本システムを利用するには、以下の要件が必要です。

1.3.1.受信機側

・HDMIポート（タイプA）またはVGAポートのある表示装置（TVやプロジェクター）
・電源コンセント

1.3.2.送信機器側

・最新インテル® Core™vPro™プロセッサーおよびインテル®WiDiGen5以上を搭載したノートPC、タブレット、ウルトラブック™もしくは2in1PC
・インテル®WiDi4以上を搭載したノートPC
・Windows 8.1を搭載したWiFi Miracast™が動作確認　済みのPC等

＊注：インテル ®Dual Band Wireless-AC もしくは Wireless-N 搭載機器の使用を推奨します。

1.3.3. インテル®ProWiDi の必須要件

インテル® Pro WiDi を快適にご利用いただくために、お使いのPCのシステムドライバーおよびWiDiアプリケーションは、必ず最新バージョンに更新された状態で利用してください。
最新版は以下のインテル・ダウンロード・センターから入手できます。

https://downloadcenter.intel.com/ja/product/63392/-WiDi-

2.セットアップ方法

本章はスクリーンビームプロ・ビジネスのセットアップ方法について説明します。セットアップを始める前に製品パッケージ内にある付属品を確認してください。

2.1.HDTVモニターとの接続

スクリーンビームプロ・ビジネスとHDTVモニターを接続する際に、以下の商品がお手元にあるかご確認ください。

・スクリーンビームプロ・ビジネス　受信機本体
・HDMIケーブル
・AC電源アダプター

受信機とHDTVモニターとの接続をする際は、

1. HDMIケーブルの一方の端子をスクリーンビームプロ・ビジネスのHDMIポート(Video Out)につなぎ、もう一方をTVモニターのHDMI端子に挿します。
2. AC電源アダプターをコンセントにつなぎ、電源入力端子をスクリーンビームプロ・ビジネス本体の電源コネクタに挿します。その後、しばらくすると、受信機本体のLEDライトが青色に光ります。
3. HDTVモニターの電源を入れて、1.で受信機とつないだHDMIポートの外部入力チャンネルに合わせます。

4. 合わせたチャンネルに“ 機器の接続を待っています ”の下記画面が表示がされていることが確認できれば、接続は完了です。

5. 受信機はTVと接続され、利用可能な状態になります。

3.スクリーンビームプロ・ビジネスの初期設定

本章はお手持ちのモバイル機器を、スクリーンビームプロ・ビジネスと初めて接続を行う場合の方法を説明します。利用できる機器は、下記のうちいずれかの条件が必要です。

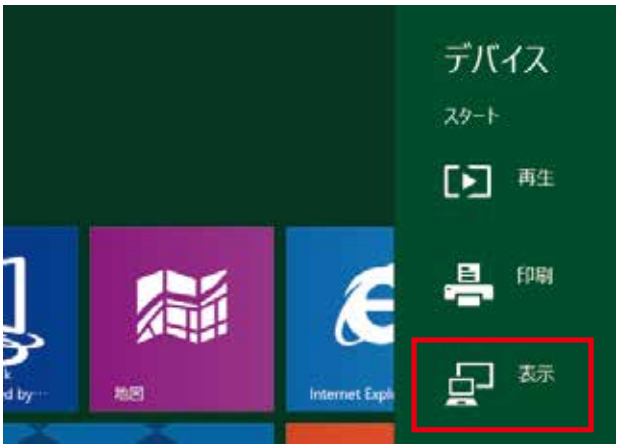
1）Windows8.1以降のOSがプリインストールされているパソコンやタブレット
2）インテル® WiDi Gen4 または Gen5 アプリケーションソフトに対応するパソコンやタブレット※注
3）Miracast™対応機器。[Android4.2以降のOSに対応したスマートフォンなど]

※注：インテル ®PRO WiDi Gen5 アプリケーションが動作している、インテル ®vPRO システムではミーティングマネージメント機能が利用できます。

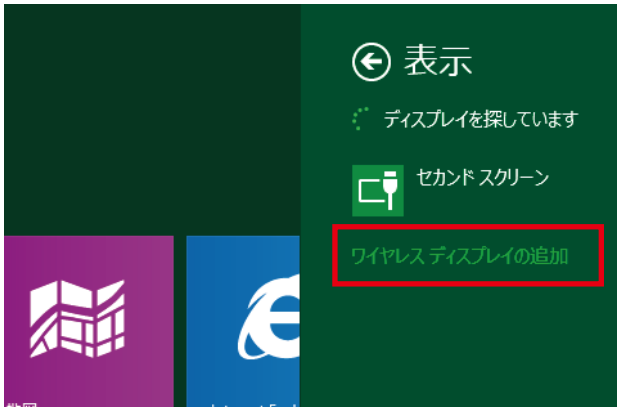
3.1.Windows8.1 プリインストール機器での設定

1. Windowsのデスクトップ画面右端のチャームを開き、[デバイス]を選択します。
（ショートカットキーを使う場合は、[Windowsキー]を押しながら[K]を押します。）

2.次に、デバイスメニュー内の[表示]を選択します。



3. 表示メニュー内の[ワイヤレスディスプレイの追加]をクリックすると、利用する受信機を探し始めます。



※注：万一、Windows8.1 で動作しているにもかかわらず、この画面が表示しない場合は以下のサイトからインテル ®WiDi ソフトウエアのアップデートツールを使って試みてください。

http://www.actiontec.com/widi81

その際、送信機器の Windows8.1 の OS、ディスプレイドライバー、WiFi ドライバーは、最新のバージョンにアップデートされた状態であることが必要です。

4. しばらくすると、[デバイスの選択]に[受信機名 (例：SBWD-----)]が表示されますので、 テレビ画面に映し出された受信機名と同じものを選択すると接続が開始されます。

5. 接続中に、Windows8.1機器側の画面にPIN番号の入力を要求するメッセージが表示され、テレビモニター側にはPIN番号とWindows 8.1機器のホスト名が表示されますので(以下の画像YO-DELL7350は例)、PIN番号を入力し、[続行]をクリックしてください。※注

※注：万一、PIN 番号が接続したテレビ画面に表示されない場合は、ネットワーク管理者が、個別に設定したセキュリティー用 PIN 番号を入手してください。デフォルト（工場出荷状態）では、PIN 番号が“12345670”に設定されています。一方 PIN 番号がテレビの画面上に表示されたら、その番号をそのまま PIN ボックスに入力してください。

6. モニター画面には、接続の状況を示したメッセージが表示されます。

接続が成功した場合は、送信機器の画面と同じ画面がテレビに表示されます。

3.2.インテル® WiDi アプリケーション搭載機器での設定

インテル®WiDiアプリケーションソフトによる接続方法について

1. インテル®WiDiアプリケーションソフトを起動します。アプリケーションソフトを探すには Windows8.1では、画面右端のチャームを表示し、[検索]を選び、ボックス内にWiDiと入力して検索します。Windows7においては、スタートメニュー下部の検索ボックス にWiDiと入力し、検索を行います。

2. インテル®WiDiアプリケーションが見つかり起動すると、自動的に接続可能な受信機を探し始めます。画面に表示された受信機名の中から、接続する受信機名を選択し、[接続]をクリックします。（「自動接続」のチェックボックスは任意選択です。）

※注：万一、受信機が表示されない場合は、[スキャン] をクリックしてください。

3. 次に、最初の接続ではインテル®WiDiアプリケーションが起動している送信機の画面上に、PIN番号の入力ボックスが表示されます。万一、PIN番号が接続したテレビ画面に表示されない場合は、ネットワーク管理者が設定したセキュリティ用PIN番号をネットワーク管理者から提供されたPIN番号を入力ボックスにキー入力し、[続行]をクリックしてください。

※注：尚、デフォルト (工場出荷状態) では、セキュリティー用 PIN 番は“12345670”です。一方、PIN 番号がテレビの画面に表示された際は（PIN 番号のある写真）、その番号を PIN ボックスに入力してください。

4. TVモニターの画面上には接続の動作状況を示したメッセージが表示されます。

5. インテル®WiDiアプリケーションの画面に「接続完了」と表示されます。画面の[完了]をクリックすると、TVモニターに送信機の画面が表示されます。

3.2.1.表示画面サイズの調整

万一、送信機側の表示画面がTVモニター側の表示で一部が隠れて見えない場合や周囲に黒い枠が表示されたりする場合には、インテル®WiDiの[クロッピング調整をします]で設定することが出来ます。設定方法は、以下の通りです。

※注：インテル ®WiDi アプリケーションのバージョンによっては、操作できない場合があります。

1. インテル®WiDiアプリケーション画面に表示されている[設定]をクリックすると、設定画面が現れます。[画像とサウンド(P)]をクリックしてください。

2. [画像とサウンド(P)]が画面に表示されたら[調整]を選択してください。

3. TVモニターの画面サイズを + (プラス) または - (マイナス)を使って、大小の調整してください。

3.2.2.対応するインテル®WiDiアプリケーション情報

接続の前に、インテル®WiDiソフトウェアバージョンが4.2.xx.xx以上であるかを確認して下さい。

※バージョンの確認方法

インテル®WiDiアプリケーションが標準でインストールされている機器の場合は、インテル®WiDiアプリケーションを起動し、画面の[ヘルプ]を選択し[インテル®WiDi のバージョン情報]クリックすると、画面にバージョン名が表示されます。(エラーにより起動しない場合は、インテル®WiDiソフトウェアを最新版にアップグレードして下さい)

※最新のインテル®WiDiソフトウェアとドライバーの入手方法

下記、インテル®WiDiのウェブサイトに移動して入手してください。

http://www.intel.com/go/wirelessdisplayupdate

3.3. インテル®Pro WiDi アプリケーションを利用する

スクリーンビームプロ・ビジネスはインテル ®ProWiDi (Gen5 以降) アプリケーションでのみ利用可能なミーティングマネジメント機能をサポートしています。この機能を使用するためには、スクリーンビームプロ・ビジネスの設定にある AGO モード＊注が常に有効である必要があります。初期状態では、AGO モードは有効に設定されています。
ただし、AGOモードが有効の場合、インテル®WiDi4.0では接続することが出来ませんのでインテル®WiDi4.0を利用する場合は、AGOモードを停止させて下さい。AGOモードを停止させる方法については取扱説明書(上級編) “6.1.1.Autonomous グループオーナー(AGO)モードが有効の場合” をご覧ください。

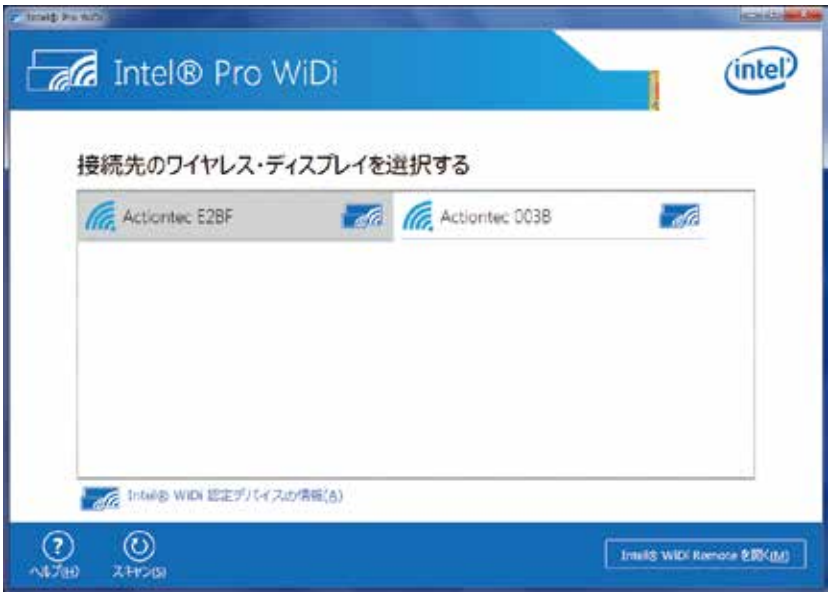
＊注 : AGO(Autonomous Group Owner) モードとは、ワイヤレスネットワーク環境 を管理し、許可を受けた機器だけがネットワークに接続できるモードです。

インテル®Pro WiDi を利用するためには、下記の仕様を満たしたインテル® vPro システムが必要となります。

・第5世代以降のインテル® CoreTM i3/i5/i7 モバイル・プロセッサー
・バージョン 15.36.x.x 以降のドライバーがインストールされたインテル® HD グラフィックスまたはインテル® IrisTM グラフィックス
・Microsoft Windows 7または Windows 8.1オペレーティング・システム
・バージョン 17.13.x.x 以降のドライバーがインストールされたインテル® Dual Band Wireless-AC 3160, インテル® Dual Band Wireless-AC 7260, インテル® Dual Band Wireless-N 7260, インテル® Wireless-N 7260, インテル® Dual Band Wireless-AC7265, インテル® Dual Band Wireless-N 7265 ワイヤレス・アダプター

お使いの PC を接続する際には、以下の手順に従ってください。

1. PC にインテル®Pro WiDi アプリケーションを起動させる。
2. インテル®Pro WiDi アプリケーションが利用可能な受信機を自動的にスキャンします。
   ご利用になる受信機を選択し、接続を開始してください。



＊注 : 使用する受信機が見つからない場合は、再度 [スキャする] をクリックしてください。

3. インテル®Pro WiDi アプリケーションが起動している PC の画面に、PIN 番号を要求する入力ボックスが表示されます。一方、HDTV 画面上には、PIN 番号並びに接続している機器名(下の例では、YO-DELL7350)が表示されますので、PIN 番号を入力ボッ クスに入力し、[続行] をクリックしてください。

＊注 : 接続したテレビ画面に PIN 番号が表示されない場合には、ネットワーク管理者が設 定したセキュリティ用 PIN 番号を入力してください。

4. HDTV モニター画面上には接続の動作状況を示すメッセージが表示されます。

5. PC とスクリーンビームプロが接続すると、PC 画面が HDTV モニター画面上に表示されます。

3.4. 最適なパフォーマンスを得るために

最適なパフォーマンスを得るために、以下をお試しください。

・受信機が品質の良い信号を受信できるように、送信機から見通せる位置に受信機を設置してください。
・ワイヤレス送信距離は約10メートルです。ただし、建物や壁の材質によって通信距離は変わります。
・扇風機やモーターの付いている製品、電子レンジ、コードレス電話機の近くへの設置はできるだけ避けてください。それらの機器は、無線通信を妨害するノイズを多く出しますので、無線通信が制限される場合があります。

4. 表示と操作について

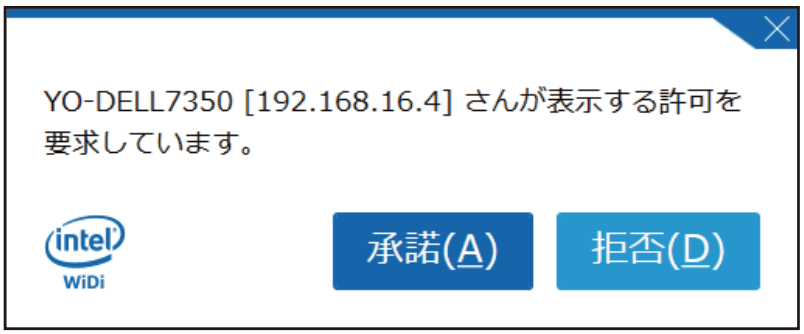
本章では、いくつかの表示モードと受信機側で設定できるコントロール機能について説明します。

4.1.インテル®ProWiDiとミーティングマネージメント機能について

スクリーンビームプロ・ビジネスはインテル® ProWiDi（第5世代）は、ミーティングマネージメントの機能をサポートします。ミーティングマネージメントでは会議の参加者が各自利用中の機器の画面を、会議室に設置されたモニターやプロジェクターに交互に投影したり、1台の機器が、会議のオーナーとして参加者の機器の表示を選択して投影させる仲介モードが利用できます。仲介モードとは最初に接続した機器が、オーナー機器としてインテル®Pro WiDi を起動し、その後、他の参加者はインテル®WiDi アプリを各自立ち上げると、オーナー機器の画面に各機器から接続完了通知として機器名が表示されます。
(接続できる機器の台数は、オーナー機器を含めて最大16台です。)

ミーティングマネージメント機能には、次の 3 種類のミーティングモードが含まれます。

1. 排他モード(自分だけが表示)：他の機器との共有をしないで、1台だけで投影するモード。
2. 双方向モード (他のユーザーが表示要求可能)：1台が他方へ投影リクエストを出すと、他方の画面に承認方確認が現れ、リクエストと承認を交互に行いながら投影するモード。
3. 仲介モード (他のユーザーに表示要求可能)：1台がオーナー機器となって最大16台の機器の投影をコントロールできるモード。



上記のマネージメントミーティング機能を使うには、最低1台のインテル®Pro WiDiが動作するvPROシステムが必要です。詳細は、上級編の[5.3.4. ミーティングマネジメントの設定方法]を参照してください。

※注：インテル ®Pro WiDi を利用するには、インテル第 5 世代 v Pro システムが必要です。

4.2.各表示モードについて

スクリーンビームプロ・ビジネスが利用できる表示モードには、3種類“複製”“拡張”“セカンドスクリーンのみ”があります。

Windows画面で表示モードを表示させるには、キーボード上のWindowsロゴ＋Pキーを同時に押して、表示されている項目から希望する表示モードを選択します。

●複製モード

複製モードとは、送信機の画面とHDTVモニターの画面とを同じ画面表示を行うことです。

※注：ワイヤレス通信の特性として送信機側の画面と TV モニターの画面では、多少の表示遅れが発生します。

●拡張モード

拡張モードとは、送信機の画面に表示中の画面に加えて、もう一つの拡張画面を作り出して、TVモニター側に表示することができます。拡張モードでは、送信機で表示中の画面の右側の枠外にもう一つ別の拡張画面を作り、モニター投影できますので、 2 面を使った利用ができます。そのため、TVモニターに投影された拡張画面から機器側に表示中の画面にコンテンツをドラッグすることができます。本モードは、ユーザーが選んだコンテンツだけをTVモニター画面に表示させ、メイン画面を機器側に表示させておくことができます。本モードを最初に選択すると、TVモニターにはWindowsデスクトップの画面が表示されます。

●セカンドスクリーンのみ

“セカンドスクリーンのみ”のモードでは、送信機の画面をTVモニターだけに投影し、機器の画面はオフになり、何も表示されません。全ての表示がTVモニター側に表示され、送信機側の画面には何も表示されず、ブランクになります。

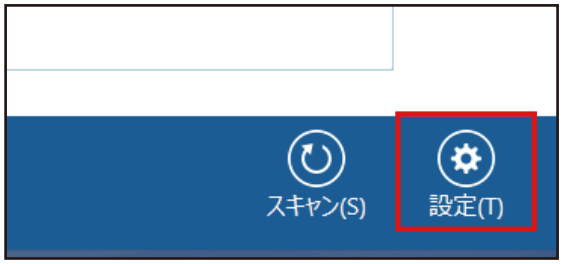
4.3.高速表示モード

スクリーンビームプロ・ビジネスには、送受信機器間の表示遅れを低減させる高速表示モードをサポートしています。高速表示モードを起動すると、リアルタイム性が求められるゲームなどにおいて、画面の遅延が気になりません。インテル®WiDiアプリケーションで利用できます。

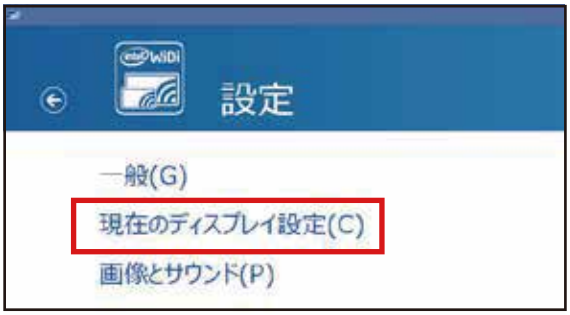
4.3.1.インテル®WiDi(Gen4)

高速表示モードは、インテル®WiDi4.0以上に対応した機器での利用が可能です。高速表示モードの起動方法は下記の通りです。

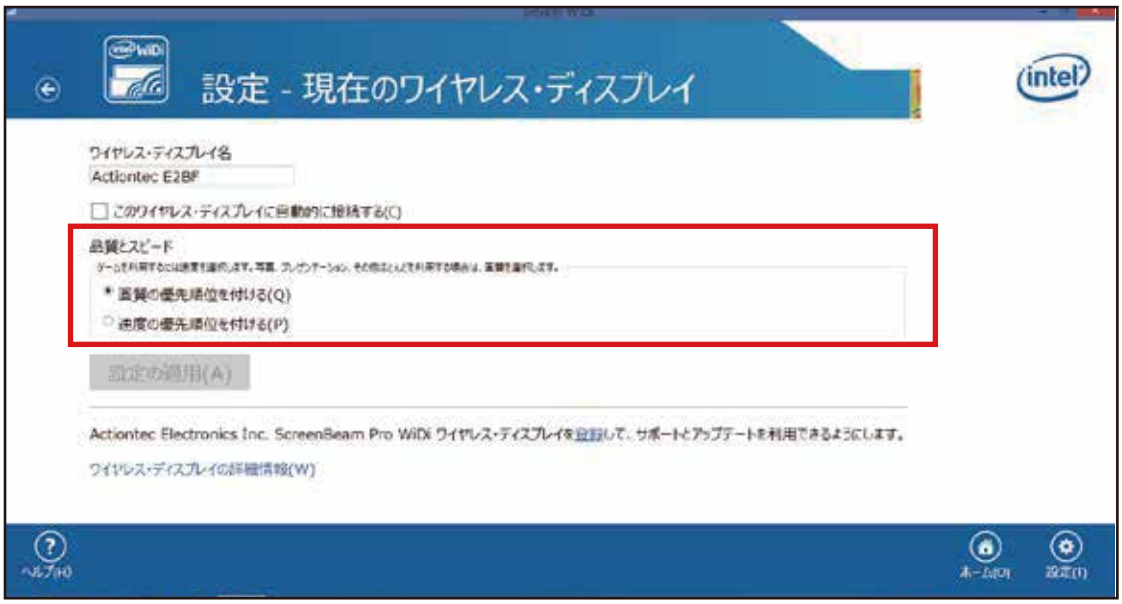
1. インテル®WiDiアプリケーションを起動し、スクリーンビームプロ・ビジネスと接続してから [設定]をクリックしてください。



2. 設定画面で[現在のディスプレイ設定]を選択してください。



3. 品質とスピードから選択してください。



4.4. USB バックチャンネル(USB over IP)について

スクリーンビームプロ・ビジネスでは、インテル®WiDi Gen5以降でサポートしたUSB バックチャンネル(UoIP/UIBC)機能＊注を利用することができます。受信機に接続した USB HID(ヒューマン インターフェース デバイス) を使って、送信機をコントロールすることがきます。

＊注 : UoIP はインテル ® WiDi アプリに搭載された標準機能です。
ミラキャストでは、同機能を UIBC(User Input Back Channel) と呼び、機器への実装はメーカーオプションです。

USB キーボード、マウス、トラックパッドへの接続方法は以下の通りとなります。

1. 最初に、受信機の管理画面にログインして、UoIP/UIBC機能を有効にしてください。詳細につきましては、取扱説明書(上級編)5.3.11. USB ローカルアクセスの設定を参照してください。
2. 受信機の USB ポートと USB HID 機器をつなぎます。

   およそ 10~15 秒で機器が検知されます。
3. USB キーボード、マウス、トラックパッドを使用して、送信機を操作できます。

5. 受信機のファームウエア更新

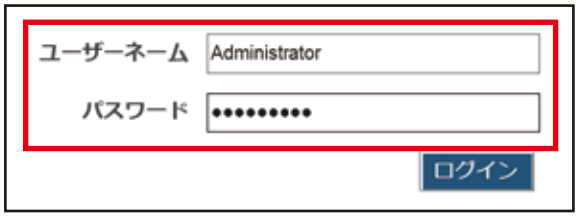
スクリーンビームプロ・ビジネスでは、定期的にファームウエアの更新を行います。アクションテックのスクリーンビーム開発チームでは、常に受信機の性能、機能、信頼性の向上を進めており、それらは、逐次、最新のファームウエアに導入されています。

ファームウエア更新を行う場合は、管理画面とUSBメモリーを使って行います。管理画面詳細利用方法については、取扱説明書(上級編)をご覧ください。(お手持ちの受信機のファームウェアは、バージョン2.11.11.0以降をご利用ください。)

以下の手順に従って、ファームウエアの更新をしてください。

1. 送信機と受信機とをワイヤレスディスプレイで接続した状態で、送信機のWebブラウザーからhttp://192.168.16.1 へアクセスしてください。

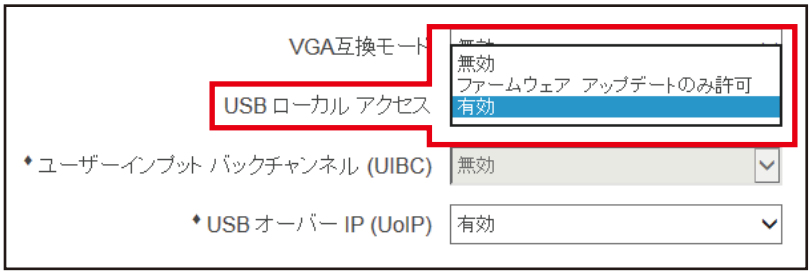
2. ログイン画面が現れますので、ユーザー名とパスワードを入力して、ログインを押すと管理画面の操作が可能になります。※注



※注：デフォルトでは、ユーザー名は「Administrator」でパスワードは「WiDi」になります。ユーザー名とパスワードは共に大文字や小文字を認証します。これらはローカルマネージメントウェブページで修正出来ます。詳細につきましては、5.3.2. ユーザー名とパスワードの変更をご参照ください。

3. 管理画面の[機能]のタブをクリックし機能設定画面を表示します。

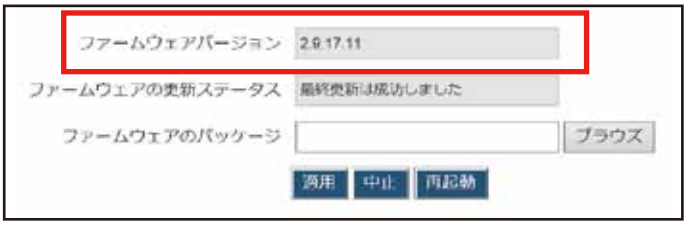
4. [USB ローカルアクセス]欄のプルダウンメニューから、[ファームウエアの更新のみを許可する]または[有効]を選択してください。



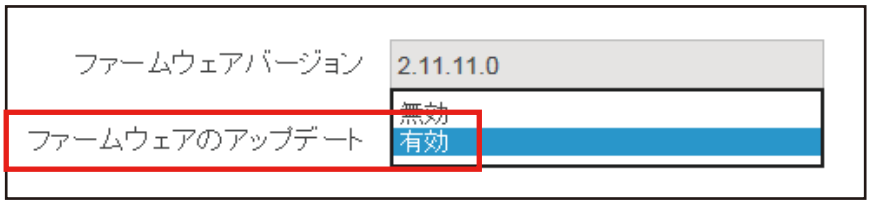
5. [適用]ボタンを選択し、ポップアップウィンドウの[OK]ボタンをクリックしてください。

6. 管理画面の[ファームウエア更新]のタブをクリックしファームウエア更新の設定ページを表示します。

7. [ファームウエアのバージョン]欄には、現在の受信機のファームウエアのバージョンが表示されますので、バージョンを確認します。



8. [ファームウエア更新]欄のプルダウンメニューから、[有効]を選択してください。



9. 次に、アクションテック社の Web サイトから、最新のファームウエアをPCにダウンロードします。

http://www.actiontec.com/323.html.

＊注 : インテル ® vPro システム以外の機器をでは、ファームウエアをダウンロードする際には、事前に受信機の SSID の接続を切断し、ルーターの SSID に接続しなおして ください。

10. ダウンロードした最新ファームウエアのZIPファイルを解凍すると autorun フォルダーと install.img ファイルがあります。

11. USBフラッシュメモリーを PC に繋いで、autorun フォルダーと install.img ファイルをそれぞれルート上(最上位層)にコピーし、PCから外します。

＊注 : 絶対にポータブルハードディスクを使用しないでください。利用できるのは FAT/FAT32 にフォーマットしたフラッシュメモリーだけです。

12. 次に、TV 画面上に[機器の接続を待っています]の画面が表示を確認してください。

13. 受信機の USB ポートにファームウエアをコピーした USB メモリーを挿入してください。

14. 暫くすると、受信機は、自動的にファームウエア更新を開始します。ファームウエアの更新状況は TV 画面上に表示されます。

警告！ファームウエア更新中は、受信機の電源を外したり、USB メモリーを外したりしないでください。

15. 更新が完了すると、受信機が再起動します。(再起動中は画面が暗くなります。)

16. [機器の接続を待っています]の画面が再度表示されるまで、USB メモリーを外さないでください。

Actiontec Electronics inc 日本オフィス

Eメール：japan-sales@actiontec.com

URL：http://japan.actiontec.com

＊ Actiontec Electronics、Inc. Actiontec、Actiontec logo、ScreenBeam およびScreenBeam Proは、米国Actiontec Electronics inc.の登録商標です。記載されている会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

＊ Intel、インテル、 Intel ロゴ、インテル vProは、アメリカ合衆国および/またはその他の国における Intel Corporationの商標です。

＊ 製品の仕様は予告なく変更される場合があります。最新の仕様については弊社営業までご確認ください。

Actiontec®
Creative Solutions for the Digital Life